

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 2090100120 | | |
| 法人名 | (有)長野カイゴサービス | | |
| 事業所名 | 桜の園グループホーム | | |
| 所在地 | 長野市桜新町724番地 | | |
| 自己評価作成日 | 平成25年11月20日 | 評価結果市町村受理日 | 平成26年4月11日 |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/ |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|--------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社マスネットワーク 福祉事業部 | | |
| 所在地 | 長野県松本市巾上13-6 | | |
| 訪問調査日 | 平成25年12月13日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成19年10月1日に開設して以来7年目になりました。おかげさまで、平均年齢87歳の利用者さんお元気にお過しです。協力病院との連携や体調管理に気をつけながら、利用者さんとの和を持って介護をさせていただいています。利用者さんに喜んでいただける公民館行事、ボランティア、神社との地域交流も、計画数が増えました。桜神社の獅子舞は桜の園に来ていただき、地区の子供や親も集まってにぎやかに開催されました。(5回目)音楽芸能際も喜んで参加されました。ホーム内の野菜畑にはきゅうり、トマト、なすなど沢山採れ、収穫にかかり楽しいひとときを過ごしました。平均年齢87歳の利用者さんの身体の状態もありますが、「ゆっくり、のんびり、にっこり」過ごされますように、歩くこと、語り合うことを重点に、今後も桜新町地区の皆さんと連携を取りあっていきたい。先日、夜間

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域の一員として、地域の中で暮らすことが定着してきており、地域の行事を自らの楽しみの一つにする暮らしの形を作っている。利用者の暮らしやすい環境作りへの課題に対する真摯な取り組みが感じられ、一つでも多くの笑顔が生まれ出されるよう努めている。全職員が正規雇用である労働環境、管理者との又職員同士の良好なコミュニケーション、隣接する病院との密な連携関係、明るく清潔な事業所内環境など利用者が居心地よく暮らせる場所作りをしている。家族会や面会時を通して築かれた家族との信頼関係を土台に、医療面、重度化や終末期対応、食事や入浴など家族が安心して見守っていただける事業所作りが出来ている。浴室のあり方、居間の広さ、外出の機会など課題も残っているが、モットーである「ゆっくり、のんびり、にっこり」が実現出来るよう、全職員で知恵を絞りながら、さらなる工夫を施す、前向きな努力を続けている。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| ユニット名(1F) | | | |
|-----------|--|----|---|
| 項目 | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | 取り組みの成果 該当する項目に印 |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 66 | 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | | |

| . サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します | | | | | |
|--|--|---|----|---|---|
| ユニット名(2F) | | | | | |
| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | 取り組みの成果 該当する項目に印 | |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|-----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | <p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p> | <p>「理念」はグループホーム内の廊下に掲げてあり、事業所としての理念を管理者と職員が共有して日常の介護に生かすようにしている。</p> | <p>利用者の日々の暮らしのあり方とそれを支える職員の心構えを明示した事業所独自の理念を作り、パンフレットや各ユニットの廊下に掲示し、内外に理念を表明している。理念の職員への共有化の継続的な取り組みは弱いですが、日々の業務の中で話題にしなが理念の実践に取り組んでいる。</p> | |
| 2 | (2) | <p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している</p> | <p>地域の自治会に加入し、公民館での文化祭やふれあい会などに参加して交流を深め、地域のボランティアの方々の受け入れも少しずつ始まっている。</p> | <p>地域の自治会員として認知(会費や回覧)されると共に自治会の各種行事(ふれあい会、文化祭、芸能音楽祭、どんど焼きの正月飾り回収など)に参加協力し、地域の中に溶け込んでいる。近くの神社の獅子舞が来たり、キーボードなどの地域のボランティアの協力、踊りや歌の発表の場として活用してもらうなど地域にとっても必要な事業所となっている。</p> | |
| 3 | | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p> | <p>地域の行事に参加したり、地区消防団の方や、役員の方などに見学していただき、理解を深めている。</p> | / | / |
| 4 | | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>区長・民生委員・市の担当者・近隣の地域包括支援センター長・家族会会長を迎えて、年6回を目標に、意見交換や指導をいただきサービスの向上に努めている。</p> | <p>地域、行政、家族の参加の下、年6回会議は開催され、委員からの意見を得ながら、事業所の現状や課題、外部評価、事故等の状況など透明性のある議題が提出されている。議事録の公表のあり方は今後の課題と思われる。</p> | |
| 5 | (4) | <p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p> | <p>運営推進会議にも参加いただいたり、連絡や相談は常に行ない、協力いただいている。</p> | <p>行政担当者や包括支援センターの職員が運営推進会議に出席しており、事業所の実情やサービスのあり方について理解を得ている。行政からは「フレッシュ情報」として地域ニーズ、介護保険等の情報、研修案内等の情報を得ている。行政との関係は良好であり、各種の連絡や相談は充分に行っている。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | (5) | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束、虐待防止の研修を受けてプリントを全職員に配布し、開かれたグループホームを目指し、介護に役立っている。日中の玄関は常に出入りが自由になっている。現在、身体拘束者は1人もいない。 | 身体拘束しないケアや抑圧感のない暮らし作りを心掛けており、夜間にトイレに頻繁に行く利用者に職員が付き添う介護を実施する等ケアのあり方が職員に浸透している。玄関には施錠はなく、チャイム等も利用して見守りや連携プレーで対応している。拘束や虐待については新聞等の切り抜きなどを利用して連絡ノートを活用して認識の共有化を図っている。 | 全職員が集まる研修会等の機会が少なく、認識の共有化に対する取り組みが弱い。身体拘束や虐待、人権、プライバシーなどは介護の原点であるので、年1回は確実に周知徹底する機会を設けることを期待したい。 |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 身体的虐待、心理的虐待、共に全職員が意識し注意している。 | | |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 個人の権利を擁護することは重要であり、研修資料を職員が共有し、理解を深めている。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居前には、必ずご本人・ご家族に見学していただき、契約内容の説明後は十分に理解いただけたか、不安を取る為の話し合いも行っている。 | | |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族の面会が多いので、その都度職員が付きご意見や思いを聞いている。家族会での意見交換も大切に、要望に答えるよう務めている。 | 利用者は日々の会話の中から思いや意向を聞いている。家族とは信頼関係が良好であり、年1回の家族会や頻度よく訪れる面会の折に意向などを聞いている。苦情箱もあるが、直接話してくれる関係になっている。廊下に行事等の写真が貼られ、家族の知らない利用者の笑顔や楽しんでいる様子が見られ、話題を作ると共に家族に安心感を与えている。 | |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員からの意見や提案の疎通性はよく、全員参加のミーティングは出来ないが、機会があることに問題は取り上げ、納得のいくまで話し合い、前に進んでいる。 | 経営者の思いもあり、全職員が正規雇用であり、管理者、職員同士共にコミュニケーションは良好であり随時の個人面談を重ねながら気楽に意見や提案を言える関係が構築されている。職員の退職等は少なく、定着率が高いため、利用者との安定した関係が出来ている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 良好な人間関係から、良い環境が出来つつあるので、やりがいのある職場環境になっている。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 多人数での研修はなかなか実現しませんが、個別での研修を職員間で共有している。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同業として地域のグループホームとの交流は、これから深め、情報交換に努めたい。 | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 不安を抱えての初期段階には、全職員が傾聴を心掛け、気持ちに寄り添い信頼関係をつくるようにしている。 | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族との連絡も密にして、様子をお伝えし、利用者ご家族の不安なことなどにも、耳を傾けている。 利用者ご家族とは信頼関係にあると思います。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 利用者やご家族の求めていることを把握して、支援の方向を決めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 利用者の心に重すぎない介護を心掛け、共に生活し、笑い合える関係として「ゆっくり・のんびり・にっこり」と過ごしていきたいと思っている。ホームのコンセプトでもある。 | | |
| 19 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族の気持ちにも寄り添いながら、利用者を理解し、共に支えあつての支援を目指している。 | | |
| 20 | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの方々の面会も自由ですので、友人、ご親戚の方々の面会が多くあり、共に過ごす時間を大切にしている。また、ご家族との外出・外泊を楽しみにしている利用者もいる。 | 近所の方、友人、親戚の方の面会が多くあり、事業所も面会が自由に出来るよう配慮したり、居室でゆっくり話が出来ようお茶の接待なども行っている。美容院に行ったり、墓参りをする等の家族協力により外出や外泊もあり、利用者はそれを楽しみにしている。 | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | ほとんどの利用者が、日中はホールで過ごしていますので、利用者さん同志の会話や支え合いが出来るように職員も関わり支援している。 | | |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退所された方は、それぞれ適切な支援や医療機関に恵まれているのでその後の支援は特にしていない。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者の入居前の生活歴や価値観・趣味などを把握し、無理のない楽しみを持って生活できるように心掛けている。 | 基本情報を土台に利用者の思いや意向を把握し、家族からも情報を得て、利用者にとって「今、何が必要か」を把握するよう努めている。「共に生活し、笑いあえる」関係作りや、「今、必要なサービス」の提供を心掛けている。自分の思いを言えない方には日々の暮らしの中での表情から、耳の遠い方には筆談で、時には回想法的手法によって利用者の心の底にある思いに触れるよう努めている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入所時の本人からの聞き取りと、ご家族からのお話や、日々の会話の中から生活歴などの把握に努めている。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 共に過ごす中で、本人の希望に出来る限り添えるように、一日の過ごし方を考えるようにしている。 | | |
| 26 | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 一人ひとりの介護計画を全職員で共有し、日々の申し送りを居室担当の意見を反映しながら、介護日誌からの評価を元に、毎月のモニタリングなどから課題を見つけて介護計画をたてている。 | センター方式の一部を活用しながら課題分析し、利用者や家族の意向を聞いて計画作成担当者がプランを作成している。居室担当が毎月モニタリングし、3か月に1度モニタリングをもとに計画作成担当者が見直しをしている。心身の変化に応じての臨機応変な計画の見直しも行われ現状に即した計画となっている。 | サービス担当者会議は随時機会を見つけて行われているが、記録がないので会議録又はケア記録に記帳されることが望ましい。ケア記録は生活記録が中心となりがちであるが、プラン実施状況も記録すると共に、モニタリング表の裏付けとなり、実施状況が把握しやすい様式を検討されることを期待したい。 |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の個別記録やバイタルの他に排便管理や食事量・水分量など、個別管理をして、体調に合わせた介護計画の見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご家族や友人との外出や外泊の支援をし、美容室への外出など、それぞれの希望に少しでも添えるようにしている。 | | |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の方の音楽ボランティアなどの参加をお願いし、楽しみの時間が少しでも多くとれるようにしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 外部評価 | | |
|----|------|---|---|---|---|
| | | | 自己評価 実践状況 | 実践状況 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 30 | (11) | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>協力病院が隣接しており、かかりつけ医による日々の健康管理も出来ている。歯科医院は往診対応もしており、専門医院はご家族の協力を得ている。</p> | <p>利用者や家族の希望するかかりつけ医になっているが、多くの方は協力医療機関を受診し、日々の健康管理も行われている。歯科等の専門医はそれぞれとなっている。受診等の付き添いは家族が行い、職員も同行し、事業所での様子を伝えると共に受診結果の情報も得ている。協力医療機関が隣接しており、連携は良好であり、家族から医療面での良い評価を得ている。</p> | |
| 31 | | <p>看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>日々の服薬の分包や管理は看護師が行ない、利用者の体調に対しては、職員・看護師・医師との連絡がスムーズになっている。</p> | | |
| 32 | | <p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入退院時は情報提供書などにより詳しい情報を交換して良好に行われている。</p> | | |
| 33 | (12) | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>現在、ご家族からの希望により重度化した利用者の介護も行っているため、ご家族・医師を交えての話し合いを何度も行ない、気持ちに添うようにしている。</p> | <p>重度化や終末期への対応は隣接する協力医療機関との良好な連携を得て、基本的には家族等の意向に応えられる体制になっている。医療的処置が多い場合は困難なケースも想定している。家族等との話し合いにより対応方法を決めている。</p> | <p>口頭による合意は出来ているが、文書による説明や合意書作成までには至っていない。相互に思い違わないよう、事業所の出来ること、出来ないことを明確にし、家族等が判断しやすい材料を多く提示して重度化や終末期対応の指針を文書化されることを期待したい。</p> |
| 34 | | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>緊急時マニュアルは、全職員で理解につとめています。ほとんど隣接病院の担当医師に頼っている。</p> | | |
| 35 | (13) | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>スプリンクラーの設置も完了しており、全職員が火災訓練を行ない認識を高めている。市の消防署による指導と共に、地域の消防団にも協力をお願いしている。</p> | <p>夜間想定で通報・避難誘導・消火器の取り扱い訓練を行った。年度末までに緊急連絡網による非常招集訓練(通報のみ)を行う計画であることを伺った。スプリンクラーの設置や自動通報装置、地域の避難班による事業所の視察、非常口の全職員の携帯、年1回の消防署の指導、改善など防災への備えをしている。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | プライバシーの保護は常に意識することを心掛けている。また、個人の尊厳や誇りに対しては、親しみやすさとの関係で勉強が必要と思っている。 | 理念に利用者の権利尊重や日頃から敬語を使い、敬うことを明記し、愛情を持って接するよう心掛けている。日々の言動については施設長がチェックし注意を促している。利用者に関わる書類は事務室に保管され、守秘義務は運営規程や契約書に明文化されている。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者が自己決定できるような声掛けになるよう努力している。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 食事とおやつ以外の時間帯は、個々の生活のペースで生活しており、自立度の高い方で、洗濯、居室片づけを行っている人がおり、見守りをしている。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 髪や爪の長さには常に気を配っているが、おしゃれとしての支援は、清潔優先になってしまい、楽しむところまでは行えていないと思う。 | | |
| 40 | (15) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 栄養面の管理はしっかりしており、バラエティーにも富んでいるのですが、今は利用者と共に作ることは出来なくなり、食事介助が増えました。個別対応として、粥・きざみ・ミキサー食などにし、楽しみな時間になるように努めている。 | 調理は食材配達サービスを利用し、その材料と献立表をもとに事業所で作っている。重度化傾向にあるため、利用者の手伝いは行われていない。畑で採れた野菜やお裾分けの野菜や果物などはアレンジとして活用し、粥やきざみ食など個々に合った食となるよう努めており、毎食とも残食のない状態になっている。 | 重度化傾向や業務の流れから、職員が介助しながら話しかけたり、テレビを見たりしての食事風景となっているが、職員が同じテーブルについて食することがない。献立や食材、最近の話題等を話しながら職員と共に食し、食事をするのがさらに楽しいひと時となるよう工夫されることを期待したい。 |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食べる量・栄養バランス・水分量とも個別に把握し、嗜好により別メニューにも対応している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 | | <p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p> | <p>介助の必要な人も含めて9人全員が3食後に口腔ケアを行っている。義歯の方は夜間に消毒をしている。</p> | | |
| 43 | (16) | <p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p> | <p>車イスの利用者も介助による立位が保てるようには、夜間もおむつにせずトイレ使用を目標に職員が頑張っている。</p> | <p>トイレを利用した排泄を介護の基本とし、排泄パターンにそった声掛けや誘導を行っている。夜間のトイレ使用の頻度の多い方も職員が付き添うなど利用者のトイレを使っでの排泄を支援している。尿取りパットやリハビリパンツを使用している方が多いが、排尿量等の状態に最適な物を選択している。排泄記録は羞恥心に配慮し、個別表に記録している。</p> | |
| 44 | | <p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p> | <p>排便管理は、個別の表にして行ない医師との連携により対応が来ている。</p> | | |
| 45 | (17) | <p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p> | <p>1人週2回、全員介助のもと個別入浴を楽しんでいる。重度者は、2人対応で機械浴を行っている。清潔を保つ為、臨機応変な対応もしている。</p> | <p>入浴は週2回を基本にして希望によりいつでも自由に利用できる体制にしている。重度者には機械浴で対応し、長湯・一番風呂・熱い湯など一人ひとりの好みに応じた入浴となるよう支援している。利用者の思いにそった同性介護への配慮もしている。</p> | |
| 46 | | <p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p> | <p>夜間対応は、個別のリズムに合わせたトイレ介助をして、安全に眠れるように支援している。</p> | | |
| 47 | | <p>服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | <p>全職員がわかるように、個別服薬表と効能を張り出し、服用に対する確認に努めている。症状の変化については医師と連絡をとっている。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 利用者の得意とする編み物やぬり絵など、楽しみへの支援をしている。役割として、洗濯物たたみ・新聞たたみ等をお願いしている。 | | |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 天候の良い日など、外庭で体操や、畑の野菜取りなどで気分転換がはかれている。希望の外出には、家族の協力も欠かせず支援を頂いている。 | 季節や天候に配慮しながら、玄関先での日光浴や事業所周辺の散歩を行い、気分転換や五感の刺激を得る機会としている。地域行事への参加、近くの公園への散策、家族協力による外出や外泊もあるが、年間を通すと、重度化も手伝って外出の機会は少ない。 | 事業所内での楽しみ(編み物・ぬり絵・新聞たたみなど)に工夫を凝らしているが、事業所内に多く居ることは周辺症状の悪化や体調不良を招き易いので、外出ボランティアの協力等も視野に入れて、1回でも多く戸外に出る機会を多くすることを期待したい。 |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ホーム内ではお金を使うことがなく、金銭の理解が出来なくなっているため、必需品はご家族からの預り金により揃えている。 | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族の希望により、携帯電話所持の方も数名おり、ホーム内の電話取次ぎは自由に行っている。 | | |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 日中ほとんどの利用者が過ごすホールは、みんなの顔が見られるように集合テーブルにし、職員と共に過ごせる空間作りに配慮している。また、毎月大型ぬり絵を仕上げ、季節がわかるようにしている。 | 食堂兼居間は採光も良く、エアコンや床暖により空調管理も整い、オープンキッチンからは調理の匂いや音を感じられ、居心地良い場所になっている。季節に応じた行事を実施し、大型のぬり絵作りもしている。廊下の壁には行事の写真が貼られ、話題を提供し、利用者の笑顔や行事を楽しむ姿が拝見出来た。良く取れた写真であったが、中には古い物もあったので、最新の状況を知らせるよう工夫されることが望まれる。 | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 集合テーブル以外に、ソファ部分を2ヶ所造っており、気の合う利用者同士が座って語り合う姿が見られる。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | それぞれの居室は、ご家族と本人の好みにより馴染みの家具等を持ち込み、個々に趣があり清潔で居心地良い空間とするように清掃を支援している。 | ベッド・寝具・収納棚・テーブルを事業所で準備しており、家具・テレビ・机・椅子・写真等は利用者の好みに応じて持ち込まれ、床に直接ベッドマットを敷く方もおり、個性的な部屋作りが出来る。各部屋とも採光が良く、明るく清潔な雰囲気である。多くの方は共用空間を利用しているが、2名の利用者が居室でゆっくり、のんびりと自分の時間を楽しんでいることを伺った。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室から、トイレやホールなどに手すり使用で歩行が出来るようになっている。トイレも十分な空間がある。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|-----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | <p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p> | <p>地域密着、理念を共有し介護している。</p> | | |
| 2 | (2) | <p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p> | <p>開所して以来少しずつ地域の方にグループホームの存在を理解していただけてきている。散歩の際地域の方と会話や挨拶も行なっている。近所の方に行事のボランティアに来てもらった。地域の行事にも少しずつ参加している。</p> | | |
| 3 | | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p> | <p>実践をどうして認知症を理解し、暖かく交流してもらう。</p> | | |
| 4 | | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>状況報告をしグループホームの取り組み等を理解していただいている。委員からの意見を参考にサービス向上に反映させている。</p> | | |
| 5 | (4) | <p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p> | <p>日常的には、認定更新時の訪問調査の日程調整するのみであって、サービスの質の向上に向けた取り組みはできていない。今後行政担当者との話し合いの機会を持っていきたい。運営推進会議を通して意見質問して参考にしている。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | (5) | <p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>身体拘束をしないケアを全職員で確認し合っている。施錠や本人の意思を無視した行動制限も身体拘束と理解しケアに取り組んでいる。</p> | | |
| 7 | | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>当施設では虐待はないと思っている。更なる研修に参加し、防止に向け取り組んでいきたい。</p> | | |
| 8 | | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>成年後見人の問題は法律そのものに未だ欠点がある様な気がするがもっと勉強が必要な気がする。</p> | | |
| 9 | | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>入居者や家族の方に事前に見学や入居者との交流をし、安心頂くようにしている。契約内容を説明し、確認とご家族の意向や希望を聞いている。</p> | | |
| 10 | (6) | <p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>家族との面会の際、情報交換の機会となるよう努力をしている。「ご意見箱」をグループホーム内に設置し、意見を頂きホームの運営に反映させていきたい。年に1度家族会を開き直接意見を聞いている。</p> | | |
| 11 | (7) | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>運営に関する意見も機会があるごとに取り上げて反映させています。代表者、管理者、職員は意見も言いやすく積極的な姿勢が見られます。代表者、管理者でゆっくり話をする時間は月に1回とれている。職員からの意見は管理者、主任が話を聞くようにしている。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 色々と問題もありますが、職場環境が介護を向上させるのに大切であると思い、整備に努力します。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修会には、今後参加していきたいと考えています。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 更なる地域のグループホームとの交流を深め、情報交換に努めたい。 | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 徐々に慣れて頂ける様に配慮し、本人の気持ちを大事に考えてゆく様になっている。 | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 家族の話を良く聞き、家族の困りごと、心配ごと、求めている事と、本人とのギャップを把握しながら信頼関係づくりをしている。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談の初期段階から「今、何が必要か」を相談の中で確認しながら「今、必要なサービス」に繋げるようにしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|-----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 入居者の経験や知識が生かせるよう、日常生活の中で教えて貰う場面を多くもてるようにしている。共に過ごす時には、支援する側、される側という意識を持たず和める場面づくりをしている。 | | |
| 19 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 職員は家族の「思い」に寄り添いながら日々の暮らしの様子を共有し、本人と一緒に支えていくよう努めています。 | | |
| 20 | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの関係が切れないように努めています。外部からの訪問に対して自由に出入りできるようにしている。 | | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 認知症の進行や、レベルにより孤立する入居者が無いよう配慮している。入居者が共に助け合う関係づくりを目指していきたい。 | | |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 家族の都合で他の施設へ移られた方がいたが、特に家族からの相談等は無いが相談があれば大切に対応していきたい。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の会話や、行動の中から把握できるよう努めている。一人ひとりの思いを大切に、ケア会議で検討し反映させている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 生活歴の把握することの意味と重要性を家族に説明し、情報に努めている。一人一人の暮らしの把握に努力しています。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの過ごし方や生活のリズムを把握しながらケアに心がけ、一日の流れを本人の姿や言葉をとおり、記録をとるよう心がけている。 | | |
| 26 | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 職員の意見を聞き、計画作成者がケアプランを作成している。出来るだけ本人や家族の思い、意見を反映させるようにしている。 | | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別にケア記録、バイタル、食事、服薬、排泄等の記録をし、情報を共有している。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | なるべく、本人や家族の変化に応じて出来るだけ応用が効くよう心がけている。 | | |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域資源を生かして介護の内容の向上を目指しているが、難しいところがある。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 | (11) | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>協力病院が隣接している為に、非常にスムーズに適切な医療を受けられています。</p> | | |
| 31 | | <p>看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>協力病院の医師が努力しカバーしています。</p> | | |
| 32 | | <p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>協力病院と連携が取れている。</p> | | |
| 33 | (12) | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>未だわからないことが多く、病状によって、病院に入院したりしています。</p> | | |
| 34 | | <p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>急変や事故の発生の対策は不十分であると思いますが、勉強し経験しながら身につけていきたい。</p> | | |
| 35 | (13) | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>昼夜を想定した災害訓練を行った。訓練の反省を糧にしたい。今後も定期的な訓練が必要と考えている。本年度は10月25日に実施</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | プライバシー保護について常に意識し、個人情報の取り扱いには気を配っています。未だ不完全で努力が必要である。 | | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日常的に「聴く」ことを大切に考えています。上手く表現できない人には、選択してもらえるよう支援している。更なる努力が必要であると思います。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 個々の生活リズムを大切にしながら、支援していくよう配慮している。職員の都合を優先せず、入居者の生活を優先出来るケアを目指すよう心がけている。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 着替えの選択は基本的に本人の意向で決めている。選択困難な場合は、職員が見守りや必要に応じた支援を行っている。現在、訪問理容を利用している。 | | |
| 40 | (15) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事は楽しみの一つであるので、楽しんでいただけるよう心掛けています。 | | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 外部業者の食材宅配サービスを利用しているが栄養バランス、カロリーは十分考えられた物を使用している。特に水分摂取に気を配っています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 | | <p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p> | <p>三食毎に声かけして行なっている。自分で出来ない方は、介助にてケアを行っている。</p> | | |
| 43 | (16) | <p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p> | <p>トイレ誘導の回数を増やし、トイレで排泄を行えるようにしている。</p> | | |
| 44 | | <p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p> | <p>便秘による心身の変化を理解し、排泄状況を把握し、スムーズな排便の為に援助を行なっている。一部難しい方もいる。</p> | | |
| 45 | (17) | <p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている</p> | <p>曜日は決めていない。時間はその都度本人確認を行ってから入浴を行っている。</p> | | |
| 46 | | <p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p> | <p>安眠は適度な運動と安心した気分、休息を昼間から配慮し、夜ゆっくり眠れるよう配慮している。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の用法等理解し、症状の変化に注意し確認し記録しています。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | その利用者の得意とすこと、喜ぶことなど生かして支援している。 | | |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 全員は無理だが、地域の行事に参加している。又、天候を考慮し出来るだけ散歩に行っている。 | | |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 以前は所持や使用の支援を行っていましたが、金銭の理解が出来なくなってきており、現在は行なっておりません。 | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 利用者本人の訴えがある際は支援するようにする。 | | |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節に応じた飾り付けをし、季節感を感じていただいている。廊下隅の居間には、ソファ、テーブルもあり、くつろげる空間がある。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 一人一人での空間は居室を使用し、利用者同士の利用する場合はホール・食堂をうまく利用している。 | | |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には馴染みの家具等持込、本人が居心地良く過ごせるようにしている。安全面を考慮して変更する場合がある。 | | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 個々の状態に合わせた援助をしている。 | | |

目標達成計画

作成日:平成26年3月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|-------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 48・49 | 桜の園グループホームの利用者の平均年齢が87歳(男2名、女16名)正常歩行者は2名程、車椅子利用者8名程、天候の具合で庭先で軽い運動位しか出来ない。お元気で過ごして頂きたい。 | 介護職員に体操やゲームを習得してもらい、運動のための頭や体を使ってもらい、楽しく過ごして頂きたい。 | 介護教室等に参加して、体操講座や、歌って踊って講座等を学び皆さんで楽しく体力をつける。 | 12ヶ月 |
| 2 | 49 | 施設には、体の具合が悪い人が多いが、健康な人もいます。外出を少しでもして頂きたい。 | 花見、七夕、紅葉等計画してゆっくり、のんびり、楽しく過ごして頂きたい。 | 年間5回位近くの場所で楽しんで頂きたい。4月花見(桜)、6月花見(あやめ)、7月七夕、10月紅葉、12月イルミネーション。 | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |